



つべつ

第110号

社協だより

編集 社会福祉法人 津別町社会福祉協議会 令和7年1月1日発行
<https://tsubetsu-shakyo.or.jp/>
<https://www.facebook.com/tsubetsushakyo/>



認知症の人にやさしい津別町に！



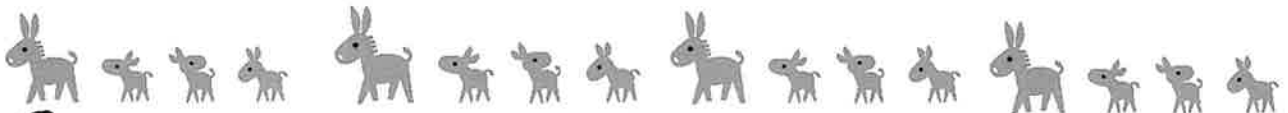
声かけ訓練の様子




11月12日（水）幸町自治会を対象に町民会館で、「ひとり歩き高齢者おかえり模擬訓練」を行いました。津別町地域包括支援センター、津別町居宅介護支援事業所や共和第2自治会にご協力をいただき、認知症サポーター養成講座や認知症高齢者が行方不明になったことを想定した、寸劇を踏まえた声掛け訓練を実施しました。この訓練が、認知症に対する理解を深め、また行方不明者に対する地域での見守り体制づくりを考えるきっかけになれば幸いです。

そして、今回参加された皆さんには、地域で認知症の人やその家族に対してできる範囲で手助けする「認知症サポーター」になって頂きました。

自治会や企業で「認知症の事を知りたい」「勉強をしたい」「認知症サポーターになってみたい」等ありましたら、社会福祉協議会までご連絡下さい。



 この社協だよりは、共同募金の配分金を活用しています。

謹賀新年

住民の皆さんや事業所等と協働し、 安心して暮らせる地域づくりを進めます！



津別町社会福祉協議会
会長 山田 英孝

新年明けましておめでとうございます。
町民の皆様には、健やかで新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、日本原水爆被爆者団体協議会（被団協）がノーベル平和賞を受賞。被爆者の立場から核兵器廃絶を訴えてきた長年の取り組みが受賞理由で、改めて、核のない平和な地域社会を作らなければと感じた年でもありました。
さて、私たちの地域社会をみると、急速な少子高齢化の進行や生活様式の変化などにより、住民の福祉課題や生活課題が多様化・複雑化してき

ています。地域の中には身寄りのない一人暮らしの方や何らかの理由でひきこもりの状態の方など生活のしづらさや生きづらさを抱えている人がいます。

町と連携して進めている重層的支援体制整備事業は、こうした孤立をしている人、生活に困窮をしている人などを、誰ひとり取り残さない取り組みでもあります。そして令和7年度からスタートする「第3期地域



町内14ヶ所毎月開催されているサロン参加者が一堂に会した「サロン交流会」運動指導士による軽運動で介護予防。



共同募金会から福祉車両の寄贈を受けました。

福祉計画・第6期地域福祉実践計画」に沿って、町や関係機関、医療・介護福祉事業所、そして住民の皆さんと

連携した事業推進を図って参ります。また、あんしん生活サポートセンターで取り組んでいる権利擁護活動は、本人主体の支援を基本に、市民後見人と共に、成年後見活動を取り組んでいきます。

合わせて、住民の皆さんと協働するふれあいサロンや認知症の方を支える事業を始め、生活支援サポート事業など、地域共生社会を見据えた事業展開を図ります。

本年も、役員一丸となり、自治会など関係者の皆さんと共に、安心して暮らせる地域づくりを進めていきますので、皆さんのご支援を心からお願いし、年頭のご挨拶といたします。

謹賀新年

社会福祉法人

津別町社会福祉協議会

会長 山田 英孝

副会長 大場 建男

理事 篠 森 紀 仁

理事 荒 川 崇

理事 大矢根 裕 子

理事 鹿 中 栄 子

理事 高 橋 以 明

理事 立 川 彰

理事 竹 原 洋 子

理事 土 田 憲 保

理事 藤 田 祐 恵

理事 水 上 隆

監事 細 川 順 市

事務局長 房 田 敏 彦

事務局次長 小 野 淳 子

職員 門 脇 隆 司

職員 一 同

津別ライオンズクラブと協定締結

社会福祉協議会と津別ライオンズクラブとの自然災害発生時における災害ボランティアセンター支援に関する協定締結が12月4日行われました。



津別ライオンズクラブ 伊藤会長（右から2番目）
津別町社会福祉協議会 山田会長（左から3番目）

【津別ライオンズクラブが支援する内容】

- ・災害VCを経由して活動するボランティアの移動や活動等に利用する車両等の提供
 - ・ボランティア支援拠点等におけるボランティアを対象とした飲食物、飲料等の提供
 - ・津別ライオンズクラブに所属する会員が有する専門性等を活かした物的・人的支援の提供
 - ・その他、両者が協議により災害VC及びボランティアの推進に必要とされる支援の提供
- ※VC（ボランティアセンターの略）

「わたしの作品展」 展示してみませんか！

町民のみなさんが趣味で作成している作品や集めている作品を募集しています。
素敵な作品を展示してみませんか。（展示場所：役場内社協カウンター前）
社協まで、お気軽にお尋ねください。



過去の作品



研修旅行 in 厚真町

10月22日～23日、身近な福祉相談所「ぽっと」の担い手12名と厚真町社会福祉協議会に研修旅行へ行ってきました。

厚真町は2018年（平成30年）9月6日午前3時7分、最大震度7、マグニチュード6.7、北海道で観測史上初めて震度7を記録し、死者37名（災害関連死1名を含む）など多くの被害がでました。

厚真町社会福祉協議会山野下事務局長、北海道で初めて応急仮設住宅に配置された山口LSA（生活支援相談員）から、発災当初から避難所生活、災害ボランティアセンターなどお話を聞きました。役場や社協職員、地域のサロンの担い手など多くの人が亡くなり辛かったが、発災1ヶ月でサロンを再開したことでみんなの笑顔をみることができたこと、「全員が無事で仮設住宅を出る」を合言葉にサロンを続けたことなど涙ながらに話をし



ていただき、大きな災害の経験のない我々も涙なしでは聞くことができませんでした。翌日は厚真町内に今も残る災害の爪痕をガイドしていただきました。

今回の研修旅行を通して、平時からの地域の見守り、人と人との繋がりが大切なことを改めて認識することができました。今後の「ぽっと」の活動に活かしていきたいと思います。

身近な福祉相談所「ぽっと」

11月23日に6年ぶりに地域支え合いフォーラムを開催しました。このフォーラムは平成28年10月から開設した町内4カ所の身近な福祉相談所「ぽっと」の活動を振り返り、これからの津別の支え合いを考えることを目的にしたものです。

基調講演は「ぽっと」開設から関わっていただいている大阪公立大学都市科学・防災研究センター/大学院現代システム科学研究科 野村恭代教授から『支え合いのまちを目指して～「ぽっと」の意義と役割～』をテーマに講演をいただきました。トークセッションでは、「ぽっと」開設から関わっていただいている北海道総合研究調査会 切通堅太郎調査部長の進行で、旭町第3ぽっと高橋以明会長、活汲中央ぽっと竹中茂樹自治会長、豊永第3ぽっと藤村勝自治会総務部長、緑町第2ぽっと松崎博好自治会長、鷹觜とし子前民生委員、野村先生、津別町保健福祉課丸尾主幹、津別町社会福祉協議会山田英孝会長の9名で、担い手になったきっかけや思いなどをお話いただきました。

「ぽっと」は、地域住民、行政、社協の3者協働の活動ですが、地域の担い手の方々の気づきが、早期に、必要な支援につながっています。津別町を住みよいまちにしたいという思いを大切に、今後も活動をつづけていきたいと思います。



地域支え合いフォーラム2024 in つべつ

サロン 交流会

11月7日にサロン交流会が中央公民館で開催されました。今年度の参加者は、13サロンから80名の参加でスタッフを入ると100名の参加でした。

今年度は、8年振りに健康運動士石川朋美氏を講師に「楽しく笑顔でからだを動かし歩き続けよう」と椅子に座ってできる運動を教わりました。つまずかない様につま先を上げる運動なども行い、この運動では、ここの筋肉が鍛えられることを説明されてとても理解しながら、それは気にして続けようという参加者はすっかり覚えていました。講師が愉快な話で笑わすので参加者は笑顔一杯の1時間を過ごしました。

みなさんは、「かるっちゃ体操」をご存じですか。その体操を考えてくれた講師の石川氏です。その体操を今も地域で広めているスタッフが、講師の前でみなさんと一緒にステージ上で披露しました。



* - *

ボランティア 輝く人 No.37



旭町
範国 悦子さん

「母親はとても起用な人だったんだけど、私は不器用なので手工芸とかはしていません。」と言っていますが、家の中には、手工芸品が数多く飾られ、お花の鉢なども飾られお手入れしていました。陶芸作品もあるので、器用じゃないかと聞くと「近くで見たら凸凹だよ。」と言っていますが、素敵な作品が揃っています。

現在は、ひとり暮らしですが、社協のボランティアに1年中協力いただき、あぐり・カフェなどに携わっていただいています。「頼られるのは楽しいし、自分にできることなら手伝うよ。」と応援していただいています。

これからも体を大事に暮らしていくために、ラジオ体操に出かけたり、散歩やテレビ体操など足腰を動かすことを気にしている。

今は、何歳まで元気にいられるか、自分ができるとは手伝うと言っているがどうなのか心配し、知人に様子が心配になったら甥っ子に連絡してと声かけしているんだそうです。

先日、小学校の福祉教育事業に参加し、こども達と一緒に過ごさせてくれて、ボランティアではなく元気と笑顔をいただいたと喜んでいました。

メモ

「輝く人」では、社協のボランティアに登録されている方を紹介しています。第37回は、ボランティア活動で1年中社協に協力をいただいている方です。

津別町共同募金委員会より

パークゴルフ大会・ゲートボール大会を開催しました

今年度も10月6日にパークゴルフ大会、10月21日にはゲートボール大会を例年通り開催する事が出来ました。両大会とも30名以上の方に参加して頂き、合計で35,000円の募金を集める事が出来ました。また、今後とも、赤い羽根共同募金活動にご寄付のご協力を賜りますようお願い申し上げます。



津別町社会福祉協議会 に車の贈呈。



山田会長 荒川会長

11月22日(金)に北海道共同募金会の配分事業により寄贈された、福祉車両の贈呈を、津別町共同募金委員会の荒川博明会長から津別町社会福祉協議会の山田英孝会長へ行いました。

募集中!

令和7年度のまる太くんピンバッジデザイン募集

(毎年津別町の名勝や特産品をモチーフにピンバッジを作成しています)

■デザインについて

・「まる太くん」、「名勝や特産品等(無くても可)」、「2025」、「津別(ひらがな、カタカナ、ローマ字でも可)」以上を必ず描いて下さい。色は6色まで使用しても構いません。

■A4用紙に、デザイン、氏名、年齢、住所、電話番号、デザイン理由を100字以内で記入して下さい。

■応募は1人1点までとさせていただきます。

■応募方法 社会福祉協議会にお持ち頂くか郵送、FAXで応募下さい。

■採用作品には、図書カード3000円分を贈呈します。

■締切 令和7年2月28日

問い合わせ 津別町字幸町41番地(役場内)

津別町共同募金会(津別町社会福祉協議会内) 電話:76-1161 FAX:75-5043

津別町老人クラブ連合会

パークゴルフ大会

9月5日11クラブ38名が参加して盛大に開催されました



男性 三島 宏章さん
(友楽園すこやかクラブ)



女性 佐藤 朝代さん
(新栄いきがいクラブ)

ゲートボール大会

9月26日7クラブ22名が参加して盛大に開催されました



優勝チーム 佐藤朝代さん(新栄)チーム
佐野信子さん(新栄) 長尾隆行さん(旭昇園) 藤原熊男さん(豊永) 幅口悦子さん(新栄)

演芸交流会

10月3日24名が歌い、盛大に開催されました



心あたたまるご寄付ありがとうございました。

(令和6年9月20日から令和6年12月16日)

社会福祉協議会へ

◆香典返しを廃して

美幌町 三浦政弘様・豊永中野トヨ様・活汲千葉悦子様
 緑町 田島利男様・活汲土屋恵子様・旭町岡村美由紀様
 上里 中山静男様・西4条 水上節子様

◆その他

津別更生保護女性会様

物品寄付

◆津別ライオンズクラブ様 使用済切手 850枚

◆北海道コカ・コーラボトリング株式会社様

飲料10箱(町内の福祉施設等に配布)

指定寄付

◆活汲第3自治会へ 活汲千葉悦子様

◆西区寿クラブへ 緑町田島利男様

◆緑町第2自治会へ 緑町田島利男様

◆旭昇園あけぼのクラブへ 旭町岡村美由紀様

◆旭町第3自治会へ 旭町岡村美由紀様



津別郵便局様より

消毒液を寄贈して
 いただきました。
 ありがとうございます



津別町玉葱振興会青年部様より

たくさんの玉葱(7袋)を寄付して
 いただきました。ありがとうございます。
 福祉事業等で活用させていただきます。



年末年始の予定

- 社会福祉協議会の休み
12月28日～1月5日まで
- 訪問介護・訪問入浴サービスの休み
12月28日～1月5日まで
- 給食サービス
1月7日から開催。毎週火・金曜日
- 移送サービスの休み
12月28日 12時～1月5日まで



編集後記

毎年、「ひとり歩き高齢者おかえり模擬訓練」を各自治会にお願いをして開催しています。津別町も行方不明になる方がいるので、この訓練をとおして地域で見守る体制が少しでも出来る事を願います。令和7年もどこかの自治会にお願いしたいと考えていますので協力お願いします (K)

ポイント交換申請受付中!

- ◆1年間活動したポイントの交換申請期間
令和7年1月6日(月)から令和7年2月28日(金)
介護予防いきいきポイントと生活支援サポーターポイントがある方は、交換をお願いします。